

# 当院のNST活動と 入院患者さまの栄養について

その2

## NST (Nutrition Support Team 栄養サポートチーム) という言葉が聞かれたことはありますか？

前号では栄養を中心にご説明させていただきました。今号では当院のNST活動を中心にお伝えいたします。日本でNSTが普及し始めたのは1998年ごろです。アメリカでは中心静脈栄養を主としてNSTが発展していったのとは異なり、日本の栄養管理は静脈・経腸・経口すべてに一貫した対応をしていることが特徴です。栄養障害のある患者さまだけでなく、潜在的にリスクを持っている患者さまも見落とさない点が、日本独自の特色となっています。

当院のNST構成メンバーは、医師、歯科医師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、歯科衛生士、病棟看護師から選抜されたメンバーにより構成されています。

当院NSTの歩みですが、2007年5月28日に済衆館病院NSTを立ち上げ、同年11月よりNST回診を開始いたしました。2009年4月1日に日本静脈経腸栄養学会のNST稼働施設認定を受けております。



### NSTの目的

栄養管理を必要とする入院患者さまに対し、チームによる栄養管理体制を強化する。

- ①医療の合理化と質の向上
- ②安全性の高い医療の提供

### NSTの任務

- ①入院患者さまの栄養評価(栄養管理が必要か否かの判定)
- ②適切な栄養管理がなされているかをチェック
- ③患者さまにもっともふさわしい栄養管理の指導・助言
- ④栄養管理に伴う合併症の予防、早期発見および治療
- ⑤栄養管理上の疑問に答える

### NSTの活動

- ①NST回診: NST栄養スクリーニングにて病棟でチェックされた患者さまの回診を行う
- ②NSTミーティング: NST問題症例の検討・懸案事項の検討・栄養に関する勉強を行う
- ③コンサルテーション: 栄養管理上の疑問について答えること

### NST回診の詳細について

NST栄養スクリーニングでチェックされた患者さまの栄養状態・栄養投与量・投与経路(経口、経腸、経静脈)を評価します。そして適切な栄養投与量・投与経路の助言を行います。また、経口摂取状態をチームで評価し、適切な食事形態・摂取量・栄養補助食品(高カロリー濃厚流動食・ゼリー、ビタミン・ミネラル含有食品)の利用などについて助言をします。摂食嚥下機能低下や口腔内トラブルが問題となる患者さまに対しては、摂食嚥下支援チームと協力して治療にあたります。また、経管栄養(PEGや経鼻経胃管栄養)を行っている患者さまの様々なトラブル(下痢、逆流性誤嚥、胃排出障害など)を解決するために、経管栄養剤の選択や投与量についてもアドバイスします。

また、当院では口から食べるリハビリを行っている患者さまが増えております。その中には高齢で栄養状態の芳しくない方がおみえになりますので、現在行っている疾病に伴う栄養障害への介入だけでなく、口から食べるリハビリを効果的に行えるような栄養に関するアドバイスも今後は行っていきたいと考えております。

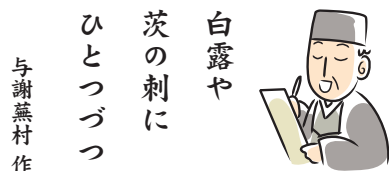
これらのNST活動を通じて、入院患者さまの栄養管理に目を配り、入院の原因となった疾病の治療効果に少しでも寄与出来るよう尽力してまいります。



※患者さまと職員に許可を得て掲載しております。

栄養サポートチーム 院長 川崎 晋吾

➡ 次号は「社会とのつながりを失うことがフレイルの入口です」



- 11月1日(金)~11月30日(土)薬剤耐性(AMR)対策推進月間/乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間/みんなで医療を考える月間
- 11月1日(金)いい医療の日
- 11月3日(日)文化の日
- 11月4日(月)振替休日
- 11月7日(木)立冬
- 11月8日(金)レントゲンの日
- 11月8日(金)いい歯の日
- 11月9日(土)119番の日
- 11月11日(月)介護の日
- 11月14日(木)世界糖尿病デー
- 11月11日(月)~11月17日(日)全国糖尿病週間
- 11月23日(土)勤労感謝の日
- 11月24日(日)~11月30日(土)医療安全推進週間

